

**問1** 日本の環境政策の歩みについて、次の3つの出来事を年代の古い順（発生した順）に正しく並べたものはどれですか。 1：温室効果ガスの排出削減に向けた国際的な枠組みである「パリ協定」への参加 2：深刻な公害問題に対処するために「公害対策基本法」を制定 3：地球規模の環境問題に対応するため、公害対策基本法を発展させた「環境基本法」を制定 （2024年 福岡県公立入試 類似）

1. 2（公害対策基本法）→3（環境基本法）→1（パリ協定）    2. 2（公害対策基本法）→1（パリ協定）→3（環境基本法）    3. 3（環境基本法）→2（公害対策基本法）→1（パリ協定）    4. 1（パリ協定）→3（環境基本法）→2（公害対策基本法）

**問2** 1949年の中華人民共和国建国以降の国際的な出来事を、古い順に正しく並べたものはどれですか。 （2021年 千葉県公立入試 類似）

1. アジア・アフリカ会議 → 日韓基本条約 → ドイツ統一 → 香港返還    2. 日韓基本条約 → アジア・アフリカ会議 → 香港返還 → ドイツ統一    3. ドイツ統一 → 日韓基本条約 → 香港返還 → アジア・アフリカ会議    4. アジア・アフリカ会議 → 香港返還 → 日韓基本条約 → ドイツ統一

**問3** 1980年代後半から1990年代初頭にかけての日本経済の動きと、その特徴について述べた文として最も適切なものはどれですか。 （2021年 香川県公立入試 類似）

1. 公害問題の激化を受けて、政府が経済成長よりも環境保護を最優先する政策に転換した時期である。    2. 銀行の貸し出し増加を背景に地価や株価が異常に高騰したが、1990年代初頭に価格が急落して崩壊した。    3. 1973年の石油危機をきっかけに、重化学工業を中心とした高い経済成長率が維持された状態を指す。    4. 円安の影響で輸出が爆発的に伸び、国内の物価が安定したまま実体経済が拡大し続けた好景気である。

**問4** 1997年に京都市で開催された会議で採択された「京都議定書」は、深刻化する環境問題に対応するための国際的な合意です。この協定が主な目的として掲げた内容として、最も適切なものを選びなさい。 （2018年 京都公立入試 類似）

1. 地球温暖化を抑えるために、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減目標を定めること    2. 発展途上国の経済的自立を支援するために、無償の資金協力や技術提供を強化すること    3. ヨーロッパ諸国間での関税を撤廃し、経済的な境界をなくして市場を統合すること    4. アジア・アフリカ諸国が主導して、植民地主義に反対し平和共存の原則を確認すること

**問5** 岩手県の人口動態において、20世紀半ばから21世紀初頭にかけての統計的な特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。 （2024年 岩手県公立入試 類似）

1. 1950年代に一度140万人を突破してピークを迎えた後、2000年から2010年にかけては約140万人から約133万人へと減少した。    2. 1950年代から2000年にかけて人口は一貫して増え続け、21世紀に入って初めて140万人の大台に乗った。    3. 1880年から現代まで、岩手県の人口は常に80万人から100万人の間で推移しており、140万人に達した時期はない。    4. 1900年から1940年にかけて人口が倍増したことが、1950年代に人口が140万人を大きく割り込む原因となった。

**問6** 湾岸戦争が勃発した背景や、その際にとられた国際的な対応について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 （2024年 千葉県公立入試 類似）

1. 冷戦の影響により、アメリカとソ連がそれぞれ別々の陣営を支援して対立が激化した。    2. 国際社会の秩序を乱すクウェート侵攻に対し、国連の決議に基づいて多国籍軍が結成された。    3. 共産主義勢力の拡大を阻止することを目的として、北米自由貿易協定に基づき軍が派遣された。    4. 民族紛争を解決するため、ヨーロッパ諸国を中心とするNATO（北大西洋条約機構）のみが展開した。

**問7** 「和食」は、自然を尊重する精神や、社会的な慣習と深く結びついた特徴を持っています。このような食文化を次世代へ継承するための取り組みとして、地域社会や家族のつながりを重視した具体的な事例はどれですか。 （2022年 広島公立入試 類似）

1. 正月などの年中行事において、家族や地域で特別な料理を囲んだり共同調理を行ったりすること    2. 伝統的な味を維持するために、家庭での調理を一切やめて専門の飲食店のみを利用すること    3. 食文化の多様性を守るために、和食以外の西洋料理や中華料理を食べることを禁止すること    4. 効率性を重視し、すべての年中行事における食事を標準化された栄養補助食品に置き換えること

**問8** 1989年にアメリカのブッシュ大統領とソ連のゴルバチョフ書記長が、地中海に浮かぶ島で会談を行い、第二次世界大戦後から長く続いてきた米ソの対立構造に終止符を打ちました。この「冷戦の終結」を宣言した会談を何と呼びますか。 （2019年 千葉県公立入試 類似）

1. マルタ会談    2. ヤルタ会談    3. ポツダム会談    4. サンフランシスコ会談

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 2 (公害対策基本法) → 3 (環境基本法) → 1 (パリ協定)	日本の環境対策は、まず1967年に四大公害などの深刻な被害を受けて「公害対策基本法」が制定されました。その後、1992年の地球サミットを経て、翌1993年により包括的な「環境基本法」へと移行しました。さらに、21世紀に入り地球温暖化対策が国際的な急務となる中、2015年の国連気候変動枠組条約締約国会議（COP21）において「パリ協定」が採択され、日本もこれに参加して温室効果ガスの削減目標を掲げています。
問2	<b>答え 1</b> アジア・アフリカ会議 → 日韓基本条約 → ドイツ統一 → 香港返還	アジア・アフリカ会議は1955年、日韓基本条約の締結は1965年、ドイツの統一は1990年、香港の返還は1997年という順序で起こりました。これらはアジア諸国の自立、日本の戦後外交の進展、そして冷戦の終結とその後の秩序の変化を示す象徴的な出来事です。
問3	<b>答え 2</b> 銀行の貸し出し増加を背景に地価や株価が異常に高騰したが、1990年代初頭に価格が急落して崩壊した。	バブル経済は、土地を持っていれば必ず値上がりするという「土地神話」などを背景に、銀行が土地を担保に多額の融資を行ったことで加速しました。しかし、政府の金融引き締めなどをきっかけに地価や株価が暴落し、銀行には回収不能な「不良債権」が大量に残ることとなりました。これにより、日本経済は「失われた10年」と呼ばれる長い不況に陥りました。
問4	<b>答え 1</b> 地球温暖化を抑えるために、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減目標を定めること	1990年代、産業活動の拡大に伴う地球温暖化が世界的な課題となりました。京都議定書は、先進国に対して温室効果ガスの排出削減を義務付けた初めての国際協定であり、持続可能な社会を目指す国際的な枠組みの基礎となりました。選択肢にある経済統合や平和共存などは、それぞれヨーロッパ共同体（EC）やアジア・アフリカ会議に関連する事象です。
問5	<b>答え 1</b> 1950年代に一度140万人を突破してピークを迎えた後、2000年から2010年にかけては約140万人から約133万人へと減少した。	岩手県の長期的な人口推移を見ると、1950年代に最初の大きなピークがあり、この時期に140万人を超えています。その後、21世紀初頭の2000年時点でも140万人近い水準にありましたが、そこから2010年にかけての10年間で約133万人まで減少しており、少子高齢化や社会増減の影響による人口減少局面に入っていることがわかります。「1900年から1940年の間に人口が2倍になった」という事実はなく、また「全時期を通じて80万人以下」という説明も誤りです。
問6	<b>答え 2</b> 国際社会の秩序を乱すクウェート侵攻に対し、国連の決議に基づいて多国籍軍が結成された。	イラクによるクウェート侵攻は、主権国家に対する不当な侵害として国際的な非難を浴びました。冷戦が終結に向かっていった時期であったため、国際連合が有効に機能し、アメリカやイギリス、さらにはアラブ諸国も含む広範な多国籍軍が組織されてイラクを撤退に追い込みました。
問7	<b>答え 1</b> 正月などの年中行事において、家族や地域で特別な料理を囲んだり共同調理を行ったりすること	和食は単なる料理の名称ではなく、正月や収穫祭といった年中行事と密接に関連し、地域の絆を深める役割を果たしてきました。こうした行事を通じた食事や、地域での共同調理の機会を持つことは、自然の恵みを分け合い、伝統的な知恵や文化を次世代へ伝える重要な手段となります。
問8	<b>答え 1</b> マルタ会談	1989年に地中海のマルタ島で行われたこの会談は、冷戦の終結を象徴する歴史的な出来事です。1945年に開催され、戦後の国際秩序を話し合った「ヤルタ会談」は冷戦の始まりに深く関わるものであり、名称が似ているため入試でも非常によく狙われる紛らわしいポイントです。